



MSD42-5200 1/2 リヤスポイラー

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA リヤスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なって下さい。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	年式	備考
MSD42-52001-A1	ホワイトパール CS (070)	シエンタ	'22/7~	
MSD42-52001-A2	プラチナホワイトパールマイカ (089)			
MSD42-52001-B0	ダークグレー (1L7)			
MSD42-52001-C0	ブラック (202)			
MSD42-52002-NP	未塗装品			

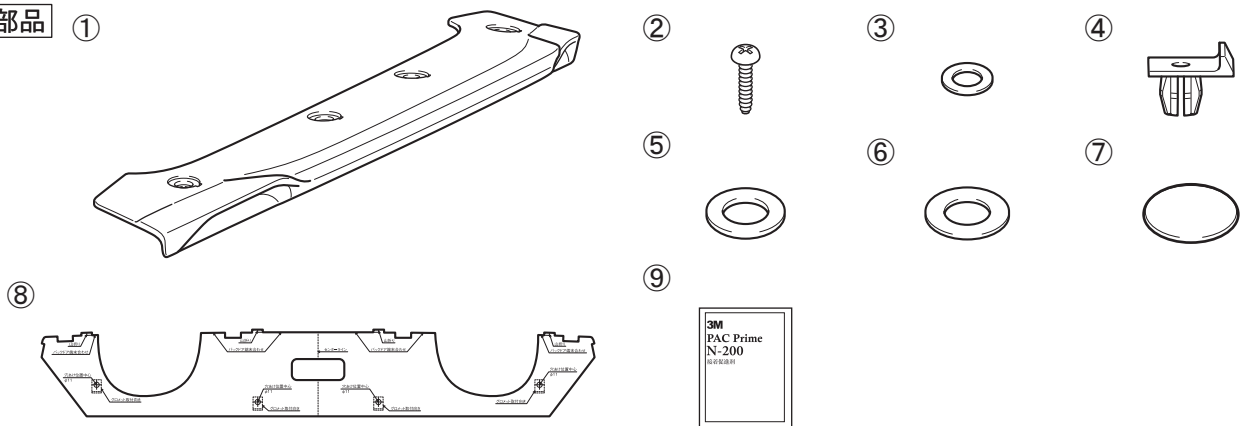
・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>

■構成部品

No.	部品名	数量	品番	備考
①	リヤスポイラー	1		
②	タッピングスクリュー	4		
③	小ワッシャー (φ16)	4		
④	グロメット	4		
⑤	大ワッシャー (φ21)	4		
⑥	樹脂ワッシャー (φ22)	4		
⑦	キャップ	4		
⑧	型紙	1		
⑨	PAC プライマー	1	08867-00220	N-200

■構成部品図

構成部品



取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⊘ エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 本商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- ❗ 車両ヘリヤスポイラーを取り付ける際は、左右1名ずつ2名で作業を行なってください。

脱脂作業について

- ⊘ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれるのでドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
- ❗ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。(PACプライマー N-200を本品に添付)
- ❗ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❶ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❷ 本商品が、車両に確実に装着されているか点検してください。
- ❸ 取り付け完了後、本商品及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- ❹ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❺ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

未塗装品の塗装作業について

- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。
- ❷ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

■目次

1. 表紙、品番・適合車種・構成部品、構成部品図	1~2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	3~4
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図	5
4. 取付準備、取付要領	6~11
5. 取付完了後の点検・注意事項	11
6. 未塗装品の取り扱いについて	12~14

■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 軍手・防塵シート・養生テープ・マスキングテープ・センターポンチ・ヤスリ
- ・ 保護メガネ・集塵機・マジックハンド
- ・ 電動ドリル
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス・タッチアップ塗料（防錆用途）

■保証について

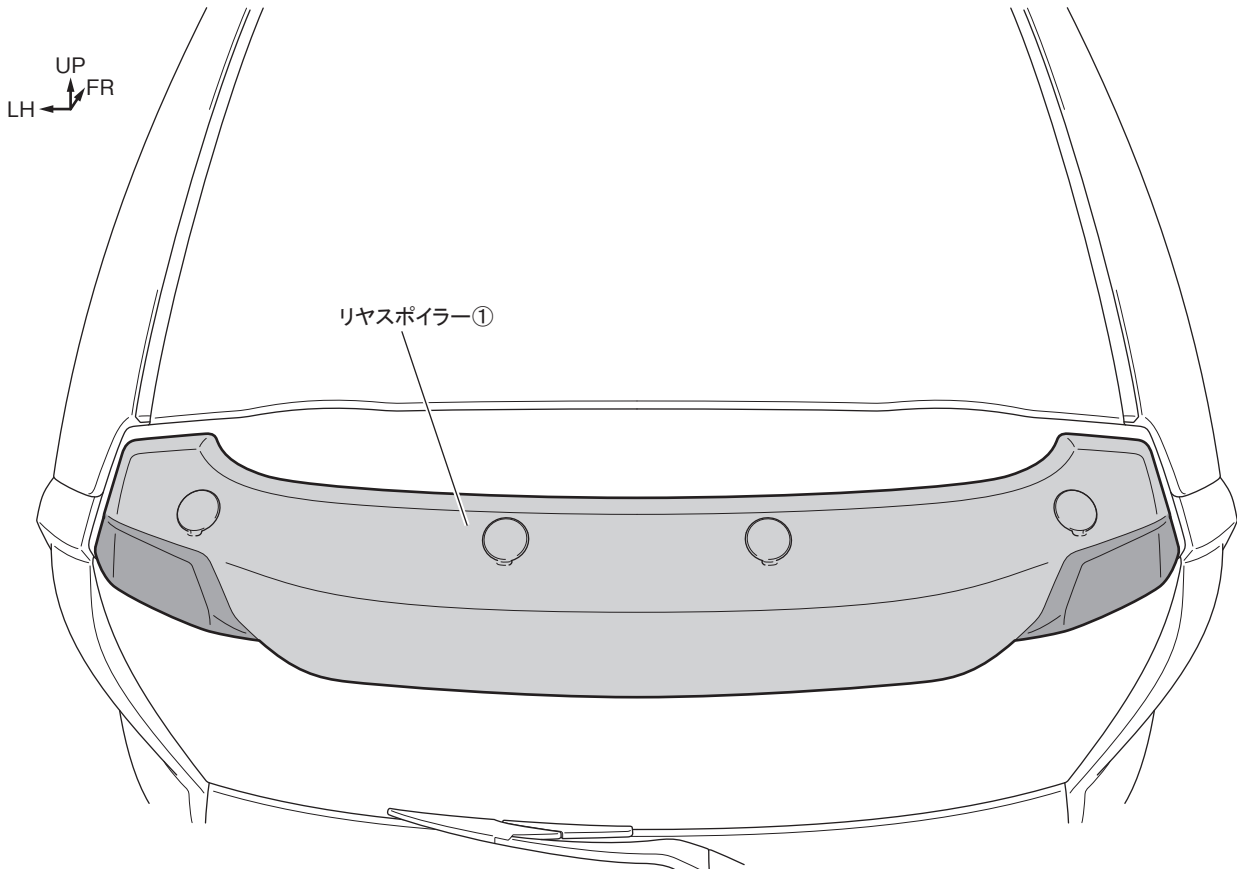
本商品は、1年・20,000 Km の保証を実施いたします。

（1年または20,000 Km 走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト 〈<https://www.modellista.co.jp/>〉

「保証について」をご覧ください。

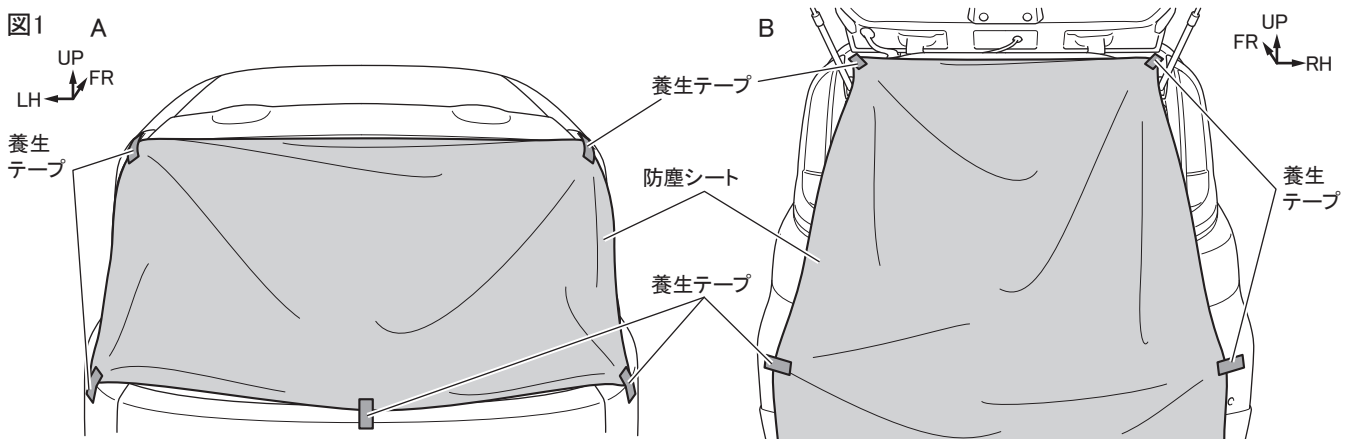
■取付構成図



■取付準備、取付要領

□防塵処理

- 図1のように穴あけ作業時の切粉が車内および各部位の隙間に入らないよう防塵処理をする。
A：車体、リヤガラス、テールランプ等に傷を付けないよう、防塵処理をする。
B：バックドアを開け、防塵処理をする。



ⓘ アドバイス：バックドア上面を穴加工するため、作業範囲周辺の傷付き防止処置を施してください。
その際にバックドアは開閉できるようにしてください。

図2 **バックドア裏側上部**

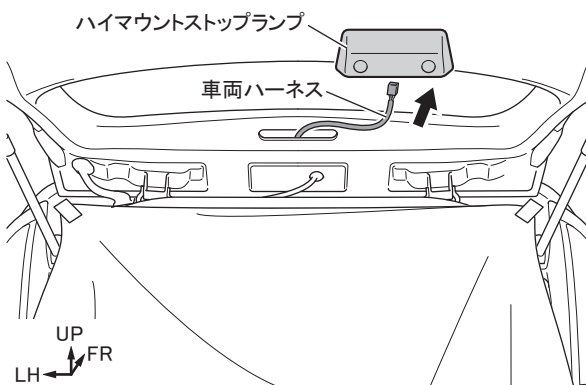
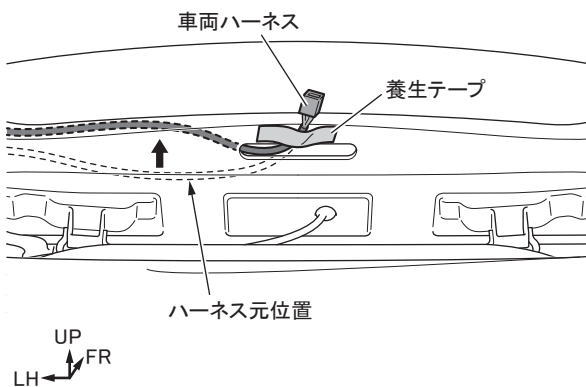


図3 **バックドア裏側上部**



□ハイマウントストップランプの取り外し

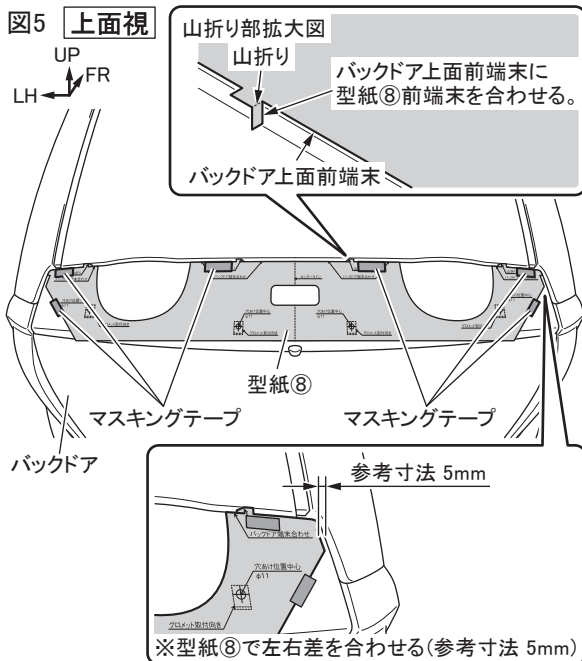
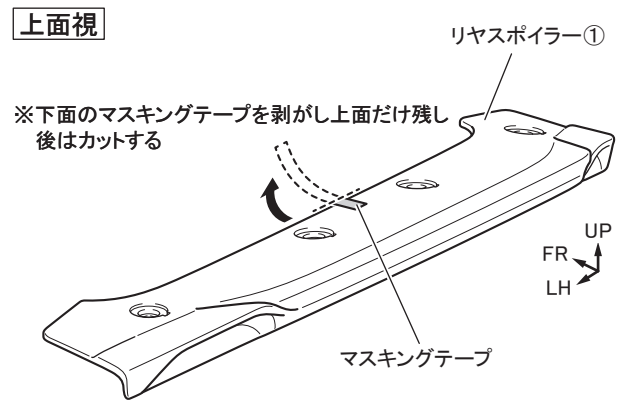
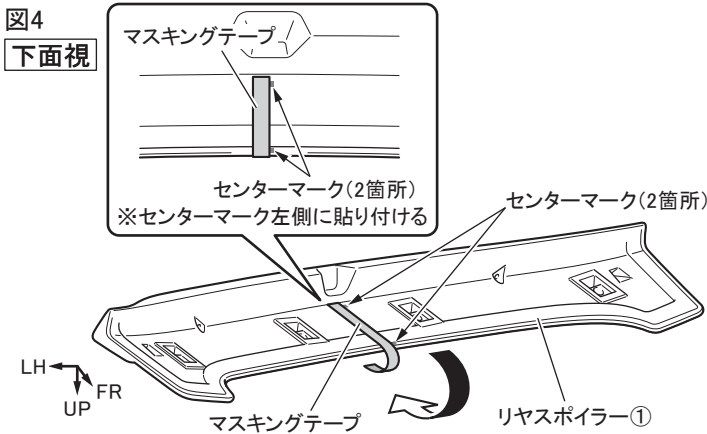
- 該当車両の修理書に従い、ハイマウントストップランプを取り外す。
- 図3のようにバックドア内部の車両ハーネスを移動し、養生テープで出口部に固定する。
- バックドアを閉める。

⚠ **注意**：穴あけ作業時にバックドア内部の車両ハーネスにドリルの刃等が干渉しないよう、必ず車両ハーネスを移動させてください。

□リヤスポイラーのセンターラインマーキング

1. 図4のようにリヤスポイラー①下面のセンターマークに合わせてマスキングテープを上面まで貼り付ける。

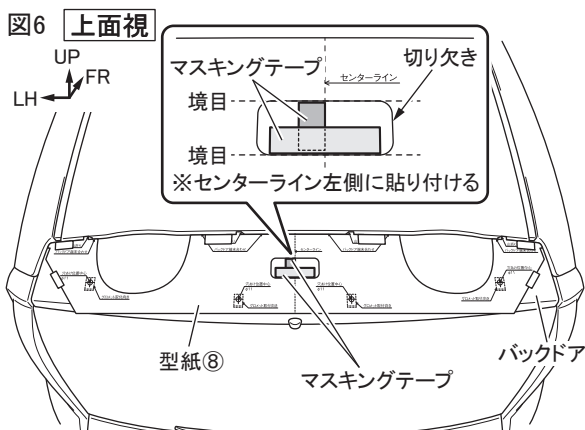
👉 アドバイス : センターマークの左側に沿って、マスキングテープを貼り付けてください。



□型紙の貼り付け

1. 図5のようにバックドア上面端末に型紙⑧をマスキングテープで張り付ける。(6箇所)

⚠ 注意 : ・ 型紙⑧を合わせる際、山折り部を使用してバックドア端末に型紙⑧の末端を確実に合わせてください。(4箇所)
・ バックドア上面に対して型紙⑧を左右均等に合わせてください。(2箇所)



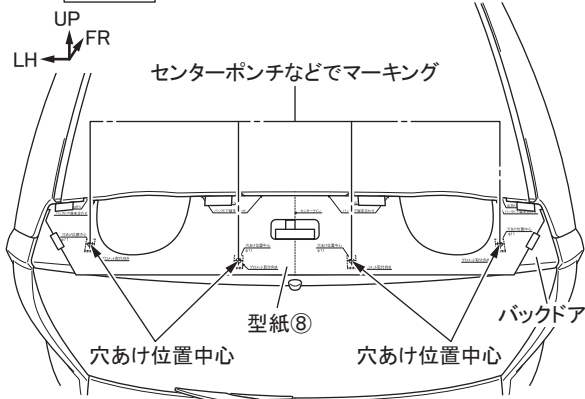
2. 図6のように型紙⑧のセンターラインに沿って、切り欠き前方の境目からマスキングテープを貼り付ける。

👉 アドバイス : センターラインの左側に沿って、マスキングテープを貼り付けてください。

3. 図6のように型紙⑧の切り欠き後方の境目に沿って、マスキングテープを貼り付ける。

⚠ 注意 : 切り欠きに貼り付けたマスキングテープが型紙⑧に重ならないようにしてください。

図7 上面視



4. 図7のように型紙⑧の穴あけ位置中心にセンターポンチ等でマーキングする。(4箇所)

👉アドバイス：穴あけ位置中心を狙ってセンターポンチ等でマーキングをしてください。

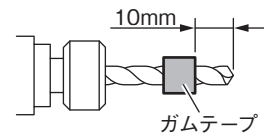


5. 型紙⑧を外す。

□バックドア上面の穴あけ

- 図8のようにマーキング位置に合わせてドリルで穴をあける。(4箇所)
(ドリル 下穴： $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0 \rightarrow \phi 8.0$ 本穴： $\phi 11.0$)
- 開けた穴のバリをヤスリで取り除く。

⚠️注意：・突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところを布テープを巻き付けてください。



- バックドア内部に切粉が入らないように集塵機等で切粉を吸収しながら穴あけ作業を行なってください。
- 穴あけ後は、必ず穴周囲のバリを取り除いた後にタッチアップ処理を施してください。

図8 上面視

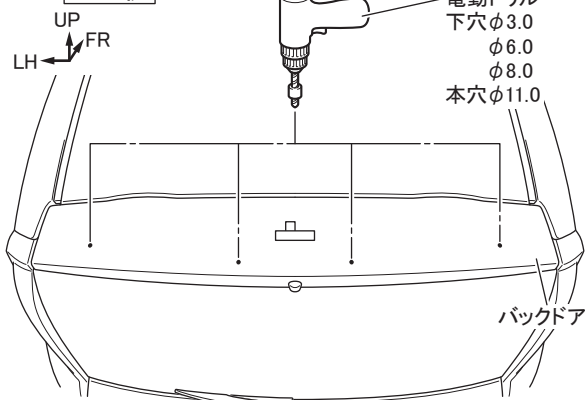
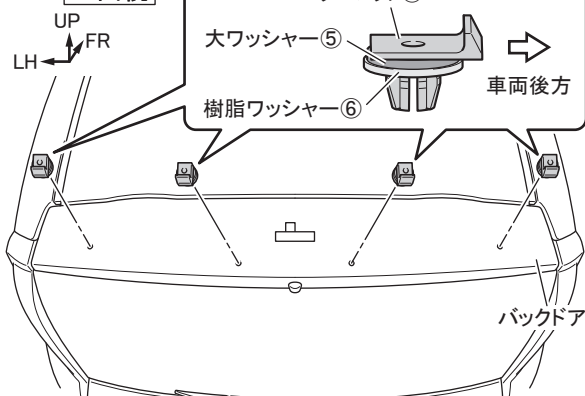


図9 上面視

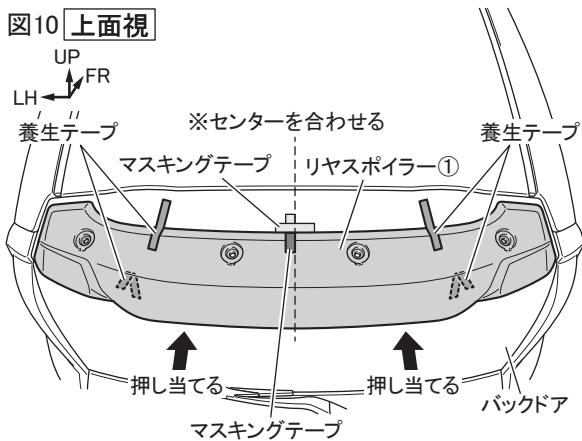


□グロメット取付

- 図9のようにグロメット④に大ワッシャー⑤と樹脂ワッシャー⑥の順で通し、穴に差し込む。(4箇所)

⚠️注意：グロメット④のリブがバックドア上面前側と平行になるようにしてください。

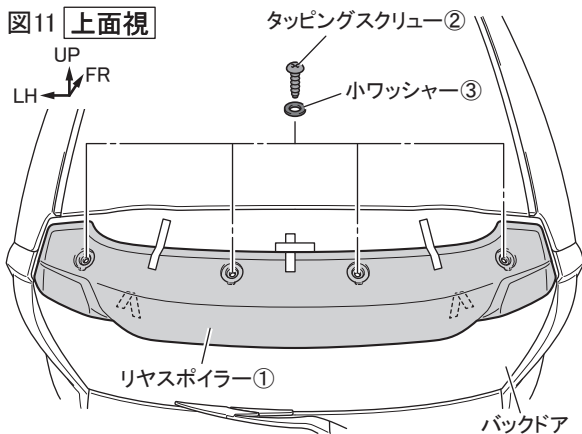
図10 上面視



□リヤスポイラーの仮当て

1. 図10のようにリヤスポイラー①とバックドアのセンターを確認しながらリヤスポイラー①を後ろから前方に向けて押し当て、養生テープでリヤスポイラー①を仮固定する。

図11 上面視

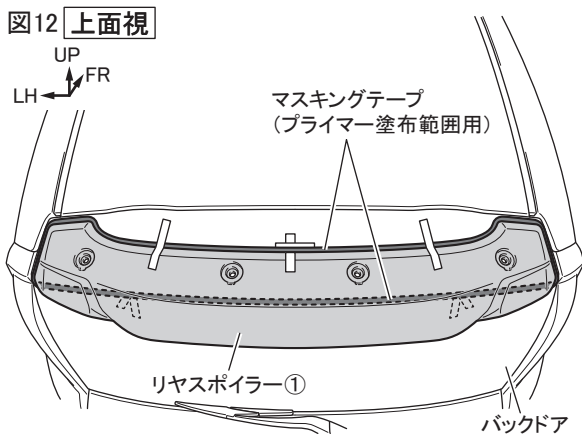


2. 図11のようにリヤスポイラー①とバックドア上面をタッピングスクリュー②と小ワッシャー③で仮締めする。(4箇所)

👉 アドバイス :

- ・リヤスポイラー①の前端部を確認し、両面テープ部が浮いていないか確認してください。
リヤスポイラー前端部隙の目安：2mm 以下
- ・両面テープ部が浮いている場合は図9で取り付けしたグロメット④のうち、車両内側2箇所の大ワッシャー⑤を取り外すと浮きがなくなることがあります。

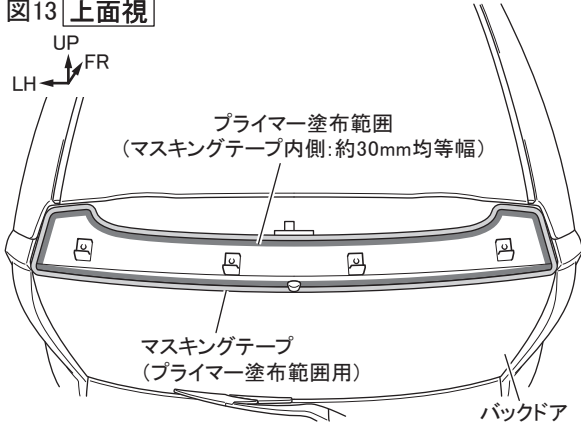
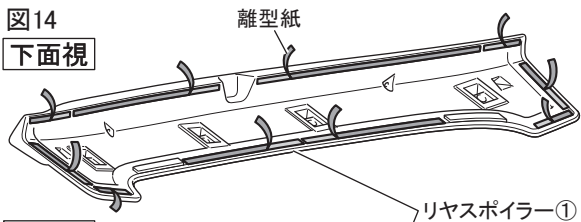
図12 上面視



□リヤスポイラーのマスキング

1. 図12のように仮固定したリヤスポイラー①の周囲に合わせてマスキングテープ(プライマー塗布範囲用)を貼り付ける。
2. リヤスポイラー①を外す。

図13 上面視

図14
下面視

上面視

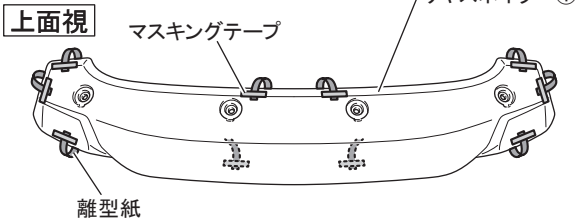


図15 上面視

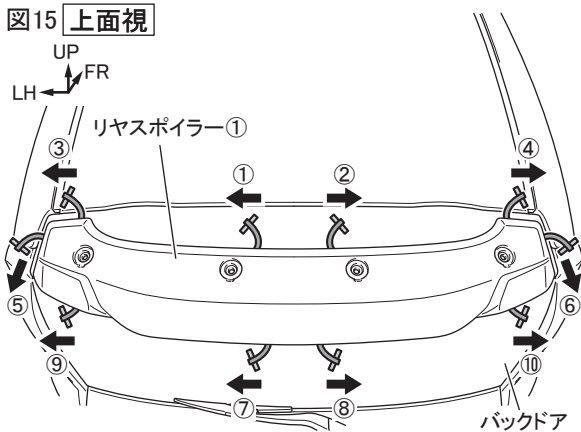
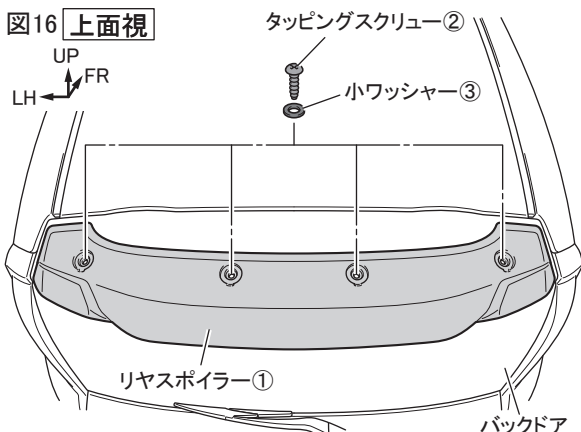


図16 上面視



□プライマー塗布

- 図13のようにバックドアのプライマー塗布範囲の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、PAC プライマー⑨を塗布する。

👉 アドバイス :

- ・プライマーは特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール (IPA) 等で拭き取ってください。
- ・プライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、マス킹をして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

□リヤスポイラーの離型紙めくり

- 図14のようにリヤスポイラー①の離型紙を剥がし、上面へ折り返してマス킹テープで固定する。(10箇所)

□リヤスポイラーの固定

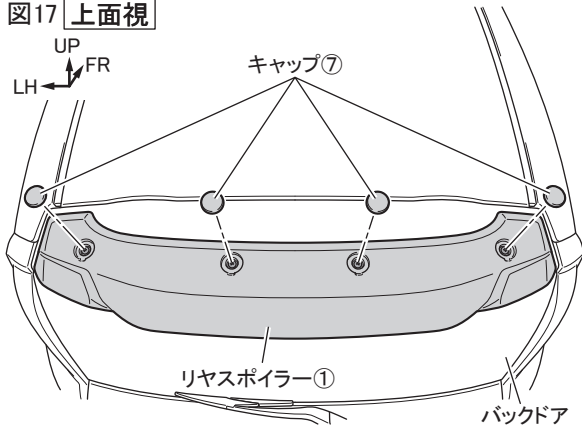
- 図15のようにリヤスポイラー①の位置を確認し、後ろから前方に向けて押し当て、図の順番で左右交互に離型紙を引き抜きながら49N (5kgf) 以上の力で圧着する。

- ### 👉 アドバイス :
- 必ず指定順番で左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・剥がれの原因となる可能性があります。

□タッピングスクリュー本締め

- 図16のようにリヤスポイラー①とバックドア上面をタッピングスクリュー②と小ワッシャー③で本締めする。(4箇所)

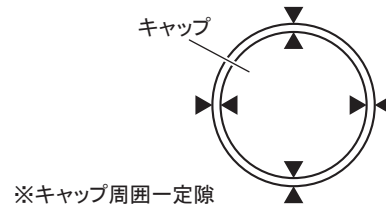
図17 上面視



□キャップ取付

1. 図17のようにリヤスポイラー①のキャップ⑦貼り付け部の周囲を脱脂し、キャップ⑦の離型紙を剥がして貼り付ける。(4箇所)

△注意：キャップ⑦は一定の隙をあけて、貼り付けてください。



□復元

1. バックドア内側の穴から集塵機のホース、マジックハンドを入れてバックドア内部に残った切粉を除去する。
2. ハイマウントストップランプを修理書に従い取り付け、車両ハーネスを元に戻す。
3. 車両に貼り付けたマスキングテープ、養生テープを全て剥がす。
4. ハイマウントストップランプの作動確認をする。
5. 取り付けがしっかりと行われているかを確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びリヤスポイラー①周りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■未塗装品の取り扱いについて

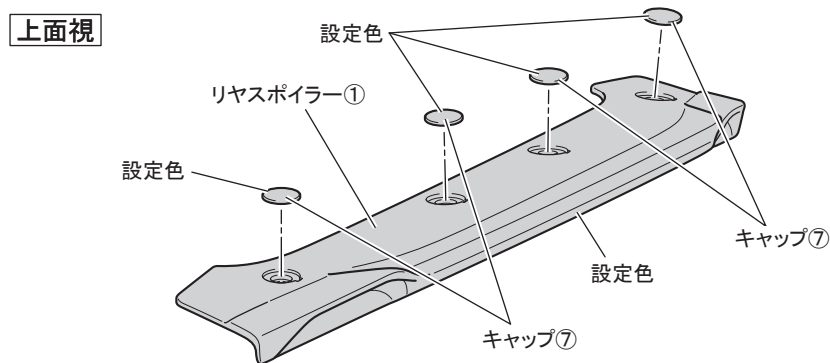
下記は未塗装品（MSD42-52002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

- ⚠ **注意**：
- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
 - ・プライマーは非導電性のものをご使用ください。
 - ・本商品の材質は＞ABS＜です。

□リヤスポイラーの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. リヤスポイラー①に取り付けてある両面テープ、パッキンの全面をマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。（リヤスポイラー①の素材は＞ABS＜です）
4. 図18のように上塗り塗装を行う。
5. 乾燥させる。

図18

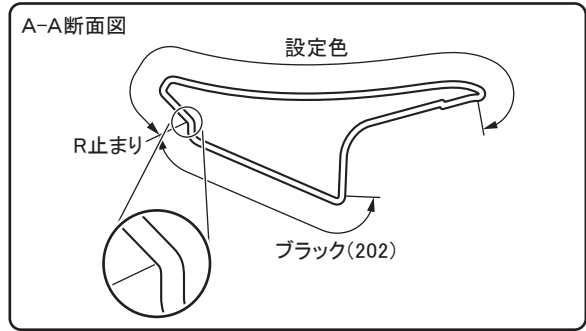
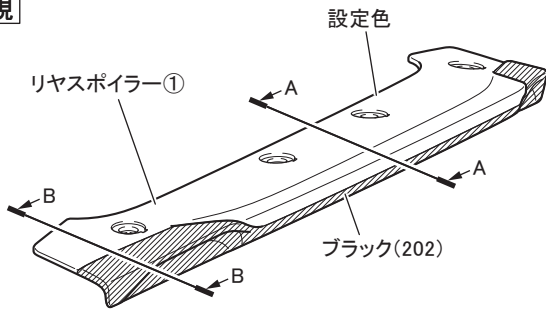


- ⚠ **注意**：
- ・両面テープ、パッキンには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。
 - ・変形しないように形状を保持してリヤスポイラー①を乾燥させてください。
 - ・上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

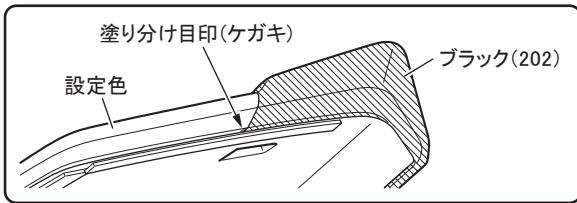
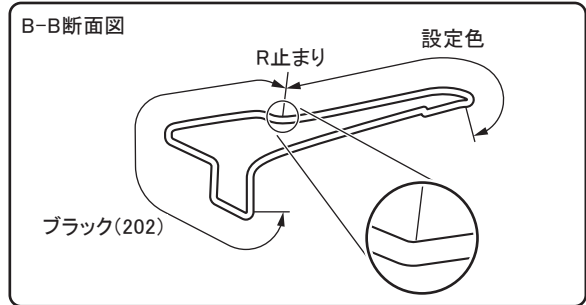
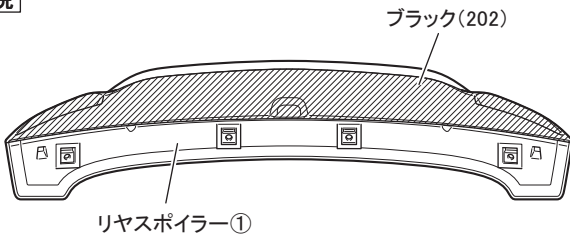
6. 図19のようにリヤスポイラー①の斜線部に、ブラック（202）を塗装する。

図19

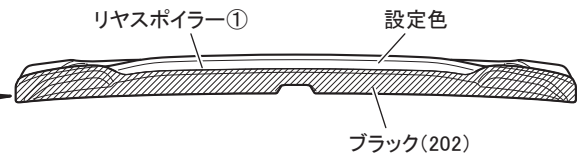
上面視



下面視



後面視



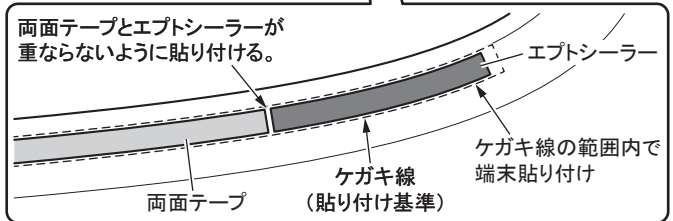
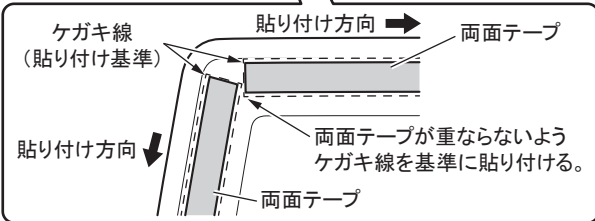
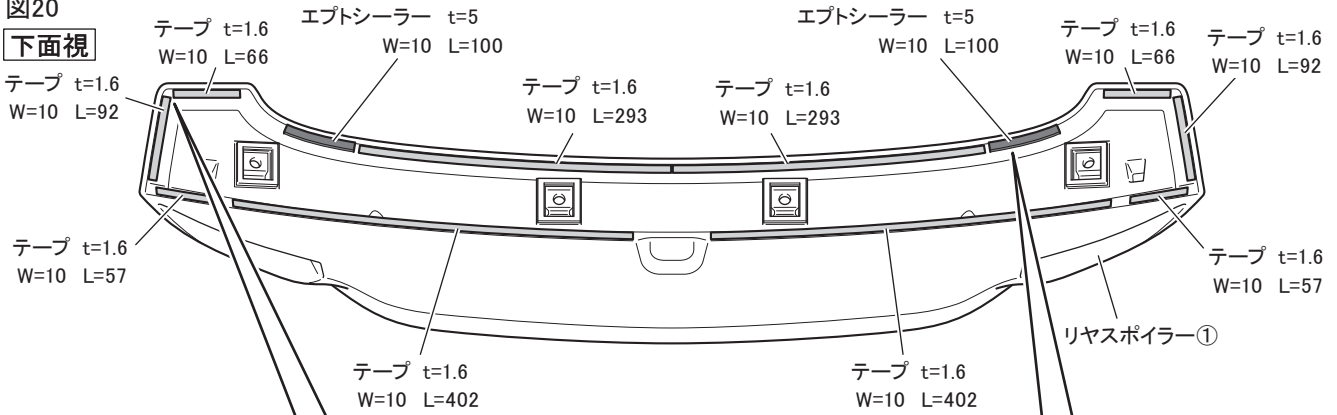
ⓘ アドバイス : 設定色がブラック（202）の場合、塗り分けはありません。

□補修キット両面テープ / エプトシーラー貼り付け

1. 補修キットを使用してリヤスポイラー①の再取り付けを行う際は、図20のように両面テープ / エプトシーラーを選択し貼り付ける。

図20

下面視



⚠ 注意 : 両面テープ / エプトシーラーを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマーを塗布する。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL : 050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

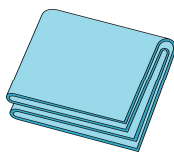


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

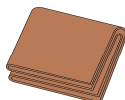


水拭き用バケツ



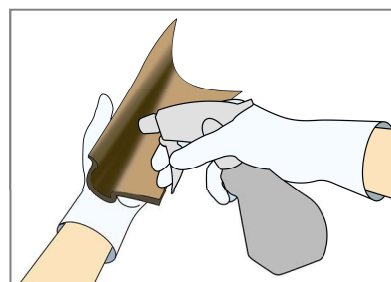
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

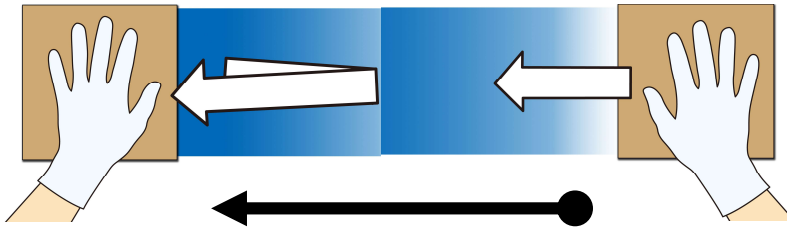
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

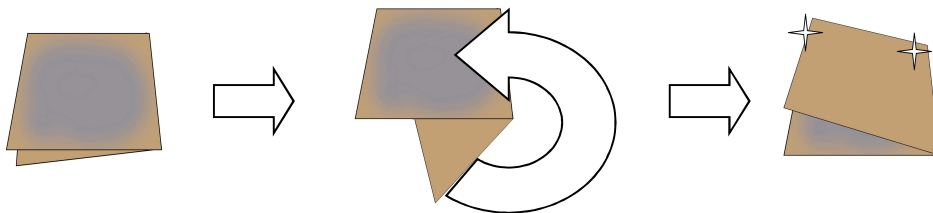
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。